

10
月号

第429号

いっしん

令和2年(2020年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

神徳を
縦に氏子の
真をば
横にはなして
あや錦織れ
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神教

教祖様137年 教団独立120年 小倉布教135年 甘木布教116年
安武松太郎大人69年 安武文雄大人25年(式年祭11月23日) 加治木教会布教69年



霊祭詞を奏上↓



シロヒガンバナ

秋季霊祭祭仕えられる

彼岸花が咲き出した九月二十二日の秋分の日、加治木教会では秋季霊祭が仕えられました。

教会長先生ご祭主のもと、ご神前で奏上祭詞が奏上され、ご霊前に転座後は、加治木教会にご縁のある教徒から信徒のすべてのご霊神のみ名を読み上げられて、ご霊神様方にお礼申し、お慰め・お称え申し上げて、親神様のお恵みを受けられて、ひとさわ高い位のご霊神様となられ、ご安心され家族親族を守り導くお働きができられるよう、お祈り申し上げます。内容の霊祭詞が奏上されました。

ご霊前では、祭詞奏上後、参拝者全員が順にご霊前に玉串を奉奠させていただきます。

信心させていたただくお互いは、万物の霊長としてこの世に命を賜った人間ですので、禽獣に劣ることのないよう、恩を知って恩に報いる生き方を現わし「知恩・感恩・報恩」の生き方を心がけたいものです。

信心には「ちがい」

というものがある

《月例祭教話》（教会長）

※八月の月例祭教話の要旨

「ありがたさちがい」

「ちがい」と言って、よく耳にしていたことは「ありがたさちがい」であります。

「願うおかげを頂いて、病気災難など自分の願いが成就して、ありがたい」という人もあれば「親神様の願（親心・ご慈愛・ご神慮）い・お恵み・お働きが理解できて、ありがたい」とはちがいます。

「熱心さちがい」

*

また「熱心さちがい」というものがありまして「病気災難など自分の願いをかなえていただきたくての熱心さ」で信心をしている人もあれば「親神様の願い、教祖様の祈り、先師の思いを理解して、人が助かる・人を導く・お役に立たせていただきたいという熱心さ」で信心をしている人もあり、そこにはちがいがあ

ます。

「中心ちがい」

*

「中心ちがい」は、これは矢野ク加治木教団副教長ラ刀自矢野政美夫人の母が、三十三才の時九死一生という大病を患い、安武松太郎師による条理を尽くされた御取次により信心が大きく改まり助かることができ、言わばそれまでは自分の願いごとを実現したいという自己中心的であった信心が、それ以来、親神様の御立場に立った信心にすっかり変わってしまったように「自己中心の信心」と「親神様中心の信心」があるのです。

これら三つの「ちがい」のわかる

*

信心をさせていただきたいものです。「病気・災難は入信の門」とも教えられていきます。

病気・災難によってご神縁を頂き入信ということになるのですが、いつまでも病気・災難といった難儀に出くわした時だけお願いするばかりの信心に留まっているのは、いつまでも入山門付近に留まり、進歩を見

ないようなものです。

信心はこの「ちがい」を噛み分けながら「参拝」「聴教」「実践（教への実践、御用奉仕）」という稽古を重ね、成長し進んで行くものであり、親神様の願い・お恵み・お働き、また、教祖様はじめ先覚の先生方の祈りをわからせていただいで行くものであります。

そうして「人が助かりさえすればけっこうである」という、親神様の最も深いところにある真実の願いを実現する「人が助かるお役に立たせていただく」という、親神様がもつともお喜びになられご安心される信心に、成長し進んで行くべきであります。

いつまでも、入山門の周辺で右往左往している信心ではなく、一段一段階段を上るように歩を進めて、人だけが喜ぶ信心ではなく、親神様もお喜びになられ人も助かり立ち行く世界を実現していくような信心の進め方をして行きましょう。

※参考「しんあい」令和二年八月号・九月号「甘木教会「私のいたたく安武松太郎師」（矢野政美著）」

熊本県南部豪雨

復興支援活動

九月十二日(土)、人吉教会において、少年少女会連合本部・筑水連合会・甘木教会手続き・鹿児島地方教会連合会の有志計十五名ほどにより、奥の方の部屋のフローリング張りや、壁板の土台作りがなされました。

床や壁の土台となる材料や機材・道具類が運び込まれて、建築について専門的な知識のある方の監督・計画のもと、作業が進められました。

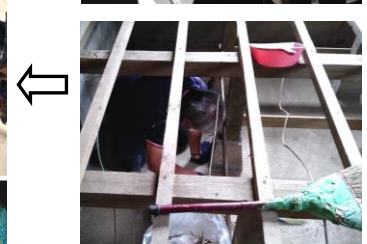
フローリング張りや、壁板の土台作りの中心メンバーは、遠方の教会や隣接教会の各方面から週一回ほどの間隔で来られて、日帰りをされるので、朝九時から夕方六時頃まで終日みっちりと作業が行われます。



材料の搬入



この日の奉仕者一同で



床下の清掃後
フローリング張り
とクросの下地の
石膏ボード張りを
皆で作業

子育てメモ

第一反抗期とは

幼児期の発達段階で現れる特徴で、自主性が順調に発達していれば、二才から三才で現れます。

母親を中心とした周囲に対しての反抗やイヤイヤ表現が著しくなり、親が手を貸すことに「自分で」と言い出す時期で、幼児期における自我の芽生えでもあり、自立への第一歩です。

子どもの意識や価値観の差はあっても、心の片隅に「独り立ちしたい」という欲求が芽生え始める時期で、まれに、現れないケースもあるとのこと。

反抗期とは表面だけを見れば反抗と似ていますが、その中身は「独立心」「自我の芽生え」で、つまり、心の正常な発達現象なのです。

この望ましい心の「自主性の芽生え」を、大人が摘んでしまわないように気を付けて見守ってあげましょう。

ちなみに「第二次反抗期」は中学生の頃、「中間反抗期」は小学校低学年から中学年の頃にあらわれることが多いそうです。



感 詠

教会長（令和二年九月）

朝起きは心の準備重ね行く
 昼間の祈りよりぞ始めり
 天気予報なき時代には準備なく
 迎へる台風いかに処したか
 天気予報あるは尊きなき時代
 いかにも台風迎へしものか
 台風の過ぎて三日も経ちぬるが
 倒木を切るチェーンソーの音
 疲れとることなく無理のできぬ年
 迎へて往時詫びて礼びぬ
 酸い甘いともに最善最高の
 神計らいと歓喜できるか
 末々を良きものにとぞなすために
 甘いも酸いも蔑み下さり



放送大学を卒業

させていたいただきました

上田和也（加治米教会輔教）
（速谷会役員）

九月二十七日（日）鹿児島県民交流センターにおいて、放送大学「卒業証書・学位記授与式」が執り行われ、念願の卒業証書と学位記を頂きました。

仕事をしながらスクーリングやDVDや通信などでの勉強でしたので、十八年を費やしましたが、鹿児島実業高校時代には、野球部での毎日の厳しい練習で、十分な勉強ができなかった後悔があり、どうしても大学の勉強を成し遂げたいという念願がありました。

両親はじめ多くの皆様には、特別なご理解とお祈りと応援を頂いてきましたことを厚く御礼申し上げます。勉強したことをこれから御用の上に行けるよう努めたいと思います。



（この日20代から80代の38名が卒業、11名が出席）

あしあと(教会行事報告)

9月

- 1 (火) 報徳月例祭 10時半
- 9 (水) 清掃御用 10時
- 10 (木) 月例祭(天神様)併せ10時半
- 12 (土) 復興支援作業(教会) (教会長)
- 13 (日) 庄村家霊祭 11時
- 21 (祝) 清掃御用 10時
- 22 (祝) 秋季霊祭10時半
- // 併せて 月例祭(天神様)
- 23 (水) 大重美知子氏 終祭 18時
- 24 (木) 大重美知子氏告別式 10時
- 31 (金) 清掃御用 10時

おくやみ

九月二十一日、大重美知子さんが満八十五才でお国替えされました。霊のご安心とお道立てをお祈り申し上げます。

九月二十四日、大重美知子さんの告別式が、やすらぎ葬祭加治木斎場で執り行われました。

コロナ禍の心配もありましたが、少し終息気味になった時期で、会葬者は全員マスクをして、訣かれを惜しみながら、祭詞で奏上される八十五年の想い出の詰まった生涯のごと聴かせていただき、霊様の世界への旅立ちを心やすかれとお祈り申し上げ、見送らせていただきました。今日まで長年にわたり、御大祭の活け花の御用をはじめ、たくさんのお御用お疲れ様でした。



報徳祭までは活け花の御用におかけを頂かれました R2.2.8.



ご霊神様のおまじ

十月

- 平地セイ之霊神 平成 14・10・01
- 矢野サダ子大乃自之霊神 平成 24・10・03
- 春山陽子之霊神 昭和 56・10・06
- 中村正行大人之霊神 平成 23・10・06
- 大木千鶴子之霊神 平成 16・10・07
- 上田喜四郎之霊神 平成 03・10・08
- 中野綾子之霊神 平成 04・10・08
- 瀬戸淳一之霊神 平成 23・10・10
- 庄村徳二之霊神 平成 02・10・13
- 前田シヅ之霊神 平成 26・10・13
- 有蘭敏雄之霊神 平成 27・10・14
- 瀬戸秀雄之霊神 昭和 50・10・14
- 荒木 恒之霊神 令和 01・10・16
- 前田照子之霊神 大正 14・10・17
- 内村 健之霊神 昭和 58・10・17
- 中野満行之霊神 平成 12・10・18
- 岡山健一之霊神 平成 29・10・21
- 春山住晴之霊神 昭和 47・10・19
- 矢野仁吉郎之霊神 昭和 30・10・26
- 福元フサ子之霊神 平成 15・10・29
- 市来政利之霊神 平成 30・10・30

「先祖のご霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。」

教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。



十月三日(土)～四日(日)

御本部 生神金光大神御大祭 参拝

交通機関～自家用車
宿泊先～光風館

【一教会二名までの代表参拝】

熊本県南部(人吉)豪雨

復興支援活動実施中

御用奉仕者募集(週一度ほど)

御用日時～実施日の二・三日前に連絡
御用内容～床張り壁設置工事お手伝い

十一月一日(日) 午前十一時

加治木教会 月例祭に併せて

生神金光大神御大祭 奉仕

※祭典後、教話。 前日清掃御用

お直会はお持ち帰りです。

十月二十三日～十月三十日

御大祭前 信行期間

ご祈念・研修～午前五時二十分

午前十時

教会行事

10月

1 (木) ●報徳月例祭 10時半

併せて 教祖ご生誕祭

3 (土)～4 (日)

御本部^{生神} 御大祭参拝

【一教会二名までの代表参拝】

9 (金) 清掃御用 10時

10 (土) ●月例祭<sup>生神金光 併せて
大神様 月例靈祭</sup> 10時半

20 (火) 小倉教会135年記念大祭

21 (水) 清掃御用 10時

22 (木) ●月例祭<sup>天地堂
乃神様</sup> 共励会13時半

31 (土) 清掃御用 10時

《未定行事》 少年少女会・青年会



11月

1 (日) 月例祭(報徳)

〃 ●加治木教会 御大祭 11時

7 (土) 大重家靈祭

9 (月) 清掃御用 10時

10 (火) ●月例祭<sup>生神金光
大神様</sup> 10時半

19 (木) 清掃御用 10時

20 (金) ●月例祭<sup>天地堂
乃神様</sup> 共励会13時半

併せて 立教記念祭・新穀感謝祭

23 (祝・月) 甘木親教会式年祭<sup>二代文雄夫人
二十五祭</sup>

25 (水) 連合会執行部会<sup>鹿見島
教会</sup> 10時半

30 (月) 清掃御用

布教七十年奉迎(令和三年)

改まりの願い

自己中心の信心から

親神様の御立場に立った信心に、

親神様を使う信心から

親神様にお喜びいただき

ご安心いただく信心に、

おかげを信じる信心から

親神様・ご神慮を信じる信心に、

改まらせていただきます。